

【理事会議事録】

日 時：2009年6月13日（土）13：05～17：15

場 所：八重洲ホール 5F 512室

出席者：國枝，柴田，渡邊，竹田，高田，田代，田村，堂谷，児玉，本間，半田，小川，藤沢，小畠，藤本
（以上15名）

欠席者：なし

また，東條事務長と宮下次期事務長が出席した．議事に先立って議長と署名人の確認がなされた．

議 長：國枝秀世

署名人：高田唯史，竹田洋一

報 告

1. 前回議事録の確認

資料1に基づいて前回（2009年3月25日）の理事会議事録が報告・確認された．

2. 秋季年会について

次回2009年秋季年会（山口大：9月14～16日）の責任者である藤沢年会開催地理事より準備の進捗状況が報告された．おおむね順調に進んでいる．講演会（9月12日）の講師は決定（戎崎氏，松尾氏）．

大学キャンパスの会場費（一般なら80万円必要）を節約するために本年会は山口大学理学部の後援名義で行うことにした．宿泊施設の不足が懸念されていたがほぼ十分に確保できそうであり，近日中に宿泊情報やアクセスの仕方を記したホームページを公開する予定．

3. 今後の年会について

来年2010年の年会の準備状況の報告が小畠（広島大），藤本（金沢大）の各開催地理事よりなされた．

2010年春季年会（広島大：3月24-27日）は会場も押さえ済みで着々と準備は進んでいる．公開講演会に併せて希望者に対して東広島天文台見学ツアーも企画することにした．

2010年秋季年会（金沢大：当面9月22～24日の予定）は日程が大学の後期授業開始に近い時期なのでその関係の行事と重なり合う可能性が出てきた．今年の10月頃には状況がはっきりする見込みだが場合によっては日程あるいは会場の変更を余儀なくされるかもしれない．また，再来年以降の2011年と2012年の年会開催地が確定したことが竹田庶務理事より報告された．2011年春は筑波大学，2011年秋は東北大学，2012年春は京都大学，2012年秋は大分大学．

4. 正会員の新規入会申し込み書式

前回の理事会で，正会員の入会資格が学生と一般で二重基準になっている現状に鑑み，「正会員の入会希望者には，申請書に入会目的を記入させたり，あるいは他の正会員の推薦を義務づけたりしてはどうか」と指摘があり，検討事項になっていた．それで実務理事と事務所職員の意見も踏まえて作られた新たな入会申請書案（正会員1名の紹介を義務づけることにして，その欄が作られた点のみが以前と異なる）が紹介され（資料2）それに対して意見の交換があった．

「『紹介者』より『推薦者』のほうがよい」など申請書に併記された説明文の文言に関するいくつかの修正点の指摘があり，これらの点を取り入れて改訂版を作成する．次回の理事会で最終的に決定する予定．

5. 巡回展示について

全国5カ所を巡る日本天文学会共催の世界天文年の巡回展示会の皮切りとして先日スタートした上野の国立科学博物館での企画展（5月30日～7月20日）の様子が半田教育理事よりスライドで紹介された．たいへん好評で初日から3,000人以上の来客があった．この上野の会場では業者による有料音声ガイド（500円：学会にも収入の一部が入る）も実施されている．

6. 天文教育委員会報告

半田教育理事より教育委員会からの諸報告が資料3に基づいてなされた．秋季年会の天文教育フォーラムのテーマは「学会によるアウトリーチ支援のあり方」に決まり講師を選定中〔注：6/20までに，戎崎（理化学研究所），黒田（西はりま天文台公園），千頭（鹿屋高校），原（日本地球惑星科学連合）の各氏に決

定)」。今後三回の年会における公開講演会の準備状況についての報告。世界天文年で講師派遣の申し込みが増えてきたこともあり、これまでの講師派遣プロジェクトを発展的に解消し、改めて「講師紹介プログラム」として模様替えして新たな体制で再発足させる方向で準備中。

7. 七夕における一斉講演会イベントについて

3月の評議員会で提案されて急速に話が進み実現化した「7月7日の七夕の日の頃に全国で一般向けの天文の講演会を集中的に実施する企画」の進捗状況が、実行委員長の柴田副理事長より報告された。現時点で全国32都道府県の82カ所の会場で100人を超す講師による講演が確定しており、数千人規模の聴衆が見込まれる、これまでになかった規模の全国的な天文イベントになる模様。ポスターも完成している。複数の会場での講演の様子はインターネットで中継もなされる予定。(なおこの企画については理事会に先立ち本会場で記者発表も行った。)

8. その他

8.1 衛星設計コンテスト委員会委員の交代

衛星設計コンテスト委員の井上 允氏が本年度から外国に転任されたことにより委員を辞任されたので、その後任として上野宗孝氏(JAXA)が新たな委員に就任されたことが竹田庶務理事より報告された。

8.2 次期事務長について

本年一杯で定年退職される天文学会事務所の現事務長の東條氏の後任事務長が、公募による選考でこの3月で国立天文台を退職された宮下暁彦氏に決まり引き継ぎのためにすでに本年5月から勤務しておられることが竹田庶務理事より報告され、本日この場に出席されている宮下氏から挨拶があった。

8.3 理事長公選制の検討について

これまでの天文学会理事長の選出過程(慣例で現執行部が現副理事長を含めて候補者を提案、理事会・評議員会で推薦、総会で承認)には候補者の選定が限られた狭い範囲になりがちで各会員の関与の度合いが薄いので、この問題点の改善のために、「会員が直接公選で理事長を選び、副理事長や各理事などの実務体制はその理事長を中心にして組織される」という公選制度の導入を検討していることが國枝理事長から報告され、物理学会や惑星学会などの他の学会の場合での長の選出過程の状況の説明、議論のたたき台としての試案(広く会員から募った候補者に対して会員の投票で決定)の紹介がなされた。それに対して、評議員会の役割と関係、被推薦者の意志の有無の確認、候補者の推薦がなかった場合にはどうするのか、などいろいろな意見の交換があった。

さらに案を煮詰めて今後の理事会・評議員会でも議論を継続する。もし最終的に合意が得られて制度が確立すれば、早ければ来年にも選挙を実施して2011年からの次期理事長を選出することをめざしたい。

議 題

1. 2010年度事業計画書案

2010年度事業計画書案について、竹田庶務理事より資料4に基づいて説明が行われた。説明が足りない部分や一部の語句の不適切な点が指摘され、これらの点の修正を行うことにして承認された。百周年記念出版委員会が2010年度にも存在していることについて質問があったが、現時点ではまだ完結していない事業でもあり、そのまま計画書案に入れることになった。

2. 2010年度収支予算書案

2010年度収支予算書案について、田代会計理事より資料5に基づき一般会計と特別会計それぞれについて説明が行われ、承認された。事業に相当すると見られるいくつかの項目が管理費に入っていることについて質問があり、三大事業以外の事業についてはこういう形で組み込むことになっているとの回答があったが、今後はもっとわかりやすくすることも必要であろうとの認識も示された。また予算に関連する話題として来年度の事務所職員の勤務形態や人件費の見通しについても言及があった。

3. 新入会員の承認

資料6に基づき、新規入会予定者(会員種別の異動者も含む)のリストが示され全員承認された。また併せて退会する会員も報告された。なお、今年から退会者と(会費未納による)除名者を区別して天文月報上で公表することになったことに関連して「世界的に著名な会員が除名になったことを知って驚いた」との意見が会員から出ているとの報告があり、意見の交換があったが、おおむね「催促にもかかわらず会費の納入

がなされない以上特別扱いはできないだろう」という見解で一致した。

4. 会費に関する細則の改訂

田代会計理事より資料7に基づき会費に関する細則改訂案が示された。現行の（年度末に次年度の会費を納入する）やりかたでは多大の内部留保を有することになって新たに制定された法律に抵触することになるので、支払時期をずらせて年度開始後の3カ月以内（1, 2, 3月）に納入することにするものである。また、併せて会費納入を遅延した場合に課せられる付加料金の呼び方をこれまでの「延滞金」から「事務手数料」に変更することにした。出席者からはさまざまなケースに関して質問が出されて問題点も指摘されたが、（移行期の混乱を極力抑えるべく）準備周到な事前の告知をすることと納入請求の際の案内に十分配慮するという条件の下に承認された。

5. 研究奨励賞内規の変更

竹田庶務理事より、資料8に基づき、石田研究奨励賞選考委員長から「委員の数を現行の5名から1名増やして6名にしたい」（より広い分野をカバーするため）との要望が出されたことについて説明があった。

これは内規の変更を行う必要があるので最終的には評議員会で承認されないといけないのであるが、特に問題はないので、評議員会にそのまま提出することが認められた。

6. 休会制度の創設

田村会計理事より資料9に基づき、すでにこれまでの理事会で話題に挙げているように、病気や留学などの正当な理由がある場合は2年を上限として会員活動を一時的に停止できて会員番号は復帰したらそのまま継続できる休会制度を正式に設けることにしたのでその申請のための書式（休会届と復会届）の案が紹介された。修正すべき細かな誤植の指摘はあったものの基本的にこの方針で承認された。この制度発足のことはホームページに記載して告知する方針であるが（書式もダウンロードできるようにする）、せっかく制度を作ったのであるから、もっと正式に（たとえば内規の中に）織り込むことも考えてはどうかとの意見も出された。

7. 秋季総会議題

竹田庶務理事より、資料10に基づき、来たる秋季総会で取り上げる予定の議題案（事業計画書、収支予算書、会費の細則改訂、新評議員メンバーの承認）と報告案（休会制度、研究奨励賞内規変更）が紹介された。報告にさらに世界天文年関連の項目を加えるだけで承認された。

8. その他

8.1 欧文研究報告編集委員1名の増員

堂谷PASJ理事より、特に電波天文関係の分野を補強する目的で新たに久野成夫氏（国立天文台）に編集委員に加わっていただくことが報告され、承認された。

8.2 天文月報編集委員を増員した件について

児玉月報理事より、月報編集委員会の委員については昨年秋季年会の際の総会で報告されたメンバーに加えて、マンパワー補強のために年度初めに浜名 崇氏（国立天文台）に入っていたいただいてスタートしていることが述べられた。

次回の理事会

次回の理事会は秋季年会の期間中に行われる（これまでの慣例では第一日目の9月14日の昼時になる予定）。

2009年7月6日

議長 國枝秀世

署名人 高田唯史

署名人 竹田洋一